

平成24年度対カンボジア草の根文化無償資金協力

武道場建設計画 完成式典開催

3月24日(月)草の根文化無償資金協力案件「武道場建設計画」(供与額限度額:120,780米ドル)により建設された武道場の完成式が、プノンペン都内で開催されました。右式典には、日本国大使館から隈丸大使が、カンボジア政府側からハン・チュンナロン教育・青少年・スポーツ相が出席して祝辞を述べるとともに、本道場の門下生約70人が参列しました。

本プロジェクトは、プノンペン都に日本武道(空手道・少林寺拳法)専用の武道施設を建設し、カンボジア国内の青少年教育や空手道及び少林寺拳法を中心とした日本武道普及振興活動を行うことを目的として、2013年2月に贈与契約が結ばれ、本年3月に工事が完了、この度の完成式典の運びとなりました。

式典で隈丸大使は、「本支援により、練習施設や機材不足が解消され、カンボジアにおける日本武道の水準が向上することを期待する。また、日本武道を練習することで、謙虚さや忍耐、他者への尊敬といった美德を身に付けるとともに、若者たちが心身ともに強くなってくれることを望む」と述べました。これに対して、ハン・チュンナロン教育・青少年・スポーツ相は、「本支援がカンボジアにおける空手道の発展に貢献し、カンボジアによる2023年のSEA GAME開催に寄与することを期待する。また、隈丸大使の述べられたように、日本武道の練習を通じて、忍耐の精神を学んで欲しい。」と述べました。

続いて、隈丸大使とハン・チュンナロン教育・青少年・スポーツ相らが、テープカットを行った後、武道場を視察し、式典は終了しました。



① 隈丸大使のスピーチ



②ハン・チュンナロン教育・青少年・スポーツのスピーチ



③ 完成した建物の概観



④ 門下生による演武の様子



⑤ テープカットの様子



⑥ 記念撮影